質 問 ・ 回 答 書

令和　元 年 12 月 27 日

工 事 名　　本町松下線築造工事（その1）

質 問 事 項	回　　答
① 図面 52枚の内No.26金抜き設計書231頁代価表	・防音パネル損料Aタイプです。
180号 図面に防音パネル標準（BSK-B）とありますが、	
金抜き設計書には防音パネル損料Aタイプとあります。	
どちらを正とすればよろしいでしょうか。	
② 図面 52枚の内No.26金抜き設計書4頁 明細書21号	・電動重量シャッターで計上しています。
図面に電動重量シャッターとありますので、金抜き設計	
書の車両出入り口シャッターは電動重量シャッターと考	
えてよろしいでしょうか。、	
③ この工事は、4週8休工事として、経費計上が必要	・経費計上の必要はありません。
でしょうか。	
④ 単価の適用年月日をご教授願います。	・10月単価を使用しています。
⑤ 市販単価は、建設物価と積算資料の二誌平均また	・二誌のうち安価なものを採用しています。
は二誌安値のどちらかご教授願います。	
⑥ 内訳書第12号 一般管理費等のみの計上で、諸	・はい。
経費（共通仮設費＋現場管理費）は未計上で宜しいで	
しょうか。	
⑦ 明細書第28号ｱｽﾌｧﾙﾄ塊（切削）の処分先を	・門真市東田町です。
ご教授願います。	
⑧ 代価表第7～12号 ﾄﾝﾈﾙ作業員は昼夜連続でなく、	・標準単価で計上していますが、契約後協議に
標準単価で宜しいでしょうか。	より対応します。
⑨ 代価表第72号 図面、全52枚の内No.33 代価表	・水平方向になります。
では垂直方向の薬液注入になっているようですが、図	
面では、No.5中間立坑からの水平注入になっているよ	
うです。垂直か水平、どちらが正解か、ご教授願います。	

⑩　代価表第148～151号　H形鋼の修理費及び損耗	・標準作業です。
費ですが、代価表のタイトルは軽作業、中身は標準作	
業になっていますが、どちらが正解かご教授願います。	
⑪　代価表第199号、第205号、第333号　廃路盤材（ｸ	・門真市深田町です。
ﾗｯｼｬﾗﾝ）の処分先をご教授願います。	
⑫　代価表第209号　覆工板賃料が、供用407ヶ月と	・407ヶ月で計上しています.
なっています。日数の間違いだと思うのですが、正しい	
月数をご教授願います。	
⑬　代価表第289号　覆工板賃料ですが、賃料＋整備	・はい。
費でなく、不足分弁償金で宜しいのでしょうか。	
⑭　設計単価年月、をご教示ください。	・質問事項④と同じ
⑮　積算上のｱｽﾌｧﾙﾄ塊(切削)の処分先をご教示く	・質問事項⑦と同じ
ださい。	
⑯　第11号内訳書に『積込取卸費』はありますが鋼材の	・計上していません。
『運搬費』が抜けていませんか。	
⑰　第29号明細書の「水道管移設」「他埋設物等に関す	・守口市水道局等の機関となり、見積等の徴収が
る費用」は市の指定業者による見積りでしょうか。	困難でありますので、次のとおりとなります。
	「水道管移設」:3,000,000円（経費対象外）
	「他地下埋設物等に関する費用」:10,000,000円
	（経費対象）となります。
⑱　第1号代価表の『交通誘導警備員B　昼夜連続』とは、	・はい。
ｼｰﾙﾄﾞ工事の時間範囲(総労働16h　2交替)ということで	
よろしいか。	
⑲　第5号代価表の『一般管理費等』とは「その他原価+	・いいえ。
一般管理費」を指すのでしょうか。	
⑳　第27号代価表の『ｼｰﾙﾄﾞﾏｼﾝ購入費』の諸経費対象	・共通仮設費、現場管理費、一般管理費
をご教示ください。	になります。
㉑　第142号代価表の出典元をご教示ください	・下水道用設計標準歩掛表　令和元年度
	管路施設編です。
㉒　第153号代価表の鋼矢板切断工　Ⅳ型の歩掛の	・下水道用設計標準歩掛表　令和元年度
出典元は「ｼｰﾙﾄﾞ」ですか日本推進技術協会の「推進	管路施設編です。
工法用設計積算要領」ですか。	

㉓　第181号代価表に『解体費(防音ﾊｳｽ)』が2ヵ所	・組立費でなく、解体費を計上していますが、
ありますが片方は組立費ではありませんか。	契約後に協議により対応します。
㉔　第264号代価表の『ｸﾚｰﾝ設置撤去工』の出典元	・下水道用設計積算要領　シールド工法編
をご教示ください。	
㉕　第333号代価表の廃路盤材(ｸﾗｯｼｬﾗﾝ)の積算上	・質問事項⑪と同じ
の処分地をご教示ください。	
㉖　アスファルト殻処分の地先をお教えください。	・質問事項⑦と同じ
㉗　廃路盤材（クラッシャラン）処分の地先をお教えく	・質問事項⑪と同じ
ださい。	
㉘　金抜き設計書　内訳書　第12号　事業損失防止	・令和元年度　下水道設計指針です。
施設費は、見積でしょうか。お教えください。また、	
一般管理費等の作出根拠をお教えください。	
㉙　金抜き設計書　代価表　第191号	・見積です。
鋼製ケーシング圧入掘削φ3000㎜は見積でしょうか、	
算出元をお教えください。	
㉚　金抜き設計書　代価表　第1号　交通誘導警備員	・1.08倍
B　昼夜連続の補正係数をお教えください。	
㉛　金抜き設計書　代価表　第33号	・積算は、設計書のとおりになります。
シールド発生土処分工　－　建設汚泥　固化物	契約後、協議により対応します。
の詳細規格をお教えください。	
㉜　生コンクリート18-8-40（高炉）の水セメント比は	・60%
指定でしょうか。詳細企画をお教えください。	
㉝　金抜き設計書　代価表　第36号	・下水道協会　シールド編
発進坑口工の算出元をお教えください。	
また、諸経費は丸め計上と考えてよいですか。	
㉞　金抜き設計書　代価表　第36号	・見積です。
ゴムリング（坑口用）は、見積りでしょうか。	
お教えください。	
㉟　金抜き設計書　代価表　第156号	・東大阪菱江です。
発生土処分工（田中資材㈱摂津市鳥飼本町）	
コンクリート（有筋）ですが、特記仕様書P9に	
コンクリート殻処分は、東大阪菱江とあります。	
どちらが正しいのでしょうか。お教えください。	

㊱　金抜き設計書　代価表　第168号	・H-200×200×8×12の6.162t及び
鋼材損料　1式の算出元（算出根拠）を	H-588×300×2×20の5.365t,
お教えください。	覆工板114㎡の損料です。
㊲　金抜き設計書　明細書　第29号	・質問事項⑰と同じ
開削工ー下水道管移設　及び　他埋設物等に	
関する費用の詳細をお教えください。	
㊳　金抜き設計書　明細書　第6号	・はい
シールド水替工は常時排水と考えてよいですか。	
㊴　金抜き設計書　代価表　第44号	・9kg/mレール
軌条設備　ー　軌条（単線）は、30kg/mでしょうか。、	
お教えください。	
㊵　金抜き設計書　代価表　第157号	・ミニシールド工法　積算指針
坑外配管工　ー　鋼管損料・SLP管損料の算出元 :、	
もしくは算出方法をお教えください。	
㊶　金抜き設計書　代価表　第159号	・ミニシールド工法　積算指針
換気設備設置撤去工　ー　送風管損料の算出元	
もしくは算出方法をお教えください。	
㊷　金抜き設計書　代価表　第161号	・損料
仮設階段設置用材料費は、購入と考えて	
良いでしょうか。また、見積り計上でしょうか。	
お教えください。	
㊸　金抜き設計書　明細書　第15号	・シャッター工には、含みません。
車輌出入り口シャッター工に、シャッター運搬費	
は計上されているのでしょうか。	
㊹　金抜き設計書　代価表　第180号	・損料のみです。
防音パネル工（防音ハウス）壁10m	
防音パネル損料　Aタイプ　1式　には	
損料の他に整備費等計上されております	
でしょうか。お教えください。	

㊺　金抜き設計書　代価表　第103号	・10本分で計上しています。契約後、
特殊二重管高圧噴射攪拌工（SJ35）において、	協議により対応します。
図面では13本の改良になっておりますが、	
設計書の内容量では10本分が想定できます。	
内容の差異があれば、変更の対象となります	
でしょうか。	
㊻　経費対象外の材料があればお教えください。	・特にありません。
㊼　金抜き設計書　内訳書　第11号	・質問事項⑯と同じ
運搬費の運搬距離をお教えください。	
㊽　施工地域・工事場所による補正は、	・はい
市街地と考えてよいでしょうか。	
㊾　設計積算基準について	・令和元年度版
本設計で使用されている積算基準について、年度と	建設工事積算基準、下水道用設計標準歩掛表
何の標準歩掛又は積算基準書を使用されているか	
御教示ください。	
㊿　設計調査基準価格について	・適用される最低制限価格の基準については
本設計で使用されている低入札・最低制限基準は	大阪府の基準でなく、本市総務部総務課の
大阪府令和元年5月31日適用基準でよろしいでしょ	HPに掲載している「建設工事の契約における
うか御教示ください。	最低制限価格の算定方法等に関する要綱の
	一部改正について（通知）」を参照してください。
（51）　設計単価について	・質問事項④と同じ
本設計で使用する単価月は入札月の令和2年1月で	
よろしいでしょうか、または別途ご指定の単価月はあ	
りますでしょうか御教示ください。	
（52）　工種区分について	・建設工事積算基準を参照
本設計で使用されている工種区分は「下水道工事	
（1）」でよろしいでしょうか御教示ください。	
（53）　不稼働係数について	・1.5
本設計で使用されている不稼働係数はいくらでしょ	
うか御教示ください。	

（54） 金抜設計書について	・200頁のみ軽作業で、他は標準作業
「金抜設計書 89頁 199頁 200頁」「金抜設計書	
90頁 197頁」H形鋼賃料について、89,90頁では	
規格が軽作業になっていますが197,199,200頁では	
標準作業になっております、どちらの規格を採用され	
るのか御教示ください。	
（55） 金抜設計書について	・設計書のとおりで処分地は、東大阪市菱江
「金抜設計書 94頁 207頁」94頁では発生土処分	になります。
工なっていますが207頁ではﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運転及びｺﾝｸ	
ﾘｰﾄ塊(有筋)になっております、ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運転は殻	
運搬となるのではないでしょうか。また運搬場所も	
東大阪市菱江になるのではないでしょうか御教示	
ください。	
（56） 金抜設計書について	・469円／㎥
「金抜設計書 77頁」水は見積りとなっていますが	
単価の公表お願いします。	
（57） 金抜設計書について	・はい
「金抜設計書 78頁」ｼｰﾙﾄﾞﾏｼﾝ購入費はｼｰﾙﾄﾞ機	
本体・ｶｯﾀｰ・作業台車・設計費・工場経費・ﾏｼﾝ輸送	
費・現地組立作業が計上されているのでしょうか御	
教示ください。	
（58） 金抜設計書について	・見積損料
「金抜設計書 79頁」機械器具損料にははｼﾞｬｯｷ	
関係・ﾓｰﾀｰ関係・ﾊﾟﾜｰﾕﾆｯﾄ関係が見積損料で計	
上されているのでしょうか、それとも建設機械等損	
料表から計上されているのでしょうか御教示ください。	
（59） 金抜設計書について	・含んでおりません。
「金抜設計書 155頁～184頁、56頁」事前調査・	
事後調査の代価中に記載の諸雑費には直接経	
費・その他原価・一般管理費が含まれるでしょうか、	
または代価表(第5号)-一般管理費の中にそれらが	
含まれているのでしょうか御教示ください。	

(60)　薬液注入について	・水平薬注です。
「金抜設計書　123頁」「図面No.33」薬液注入No.5	
(国道横断部)について、金抜設計書の積算条件は	
道路上からの施工条件となっていますが図面では	
No.5中間立坑からの水平注入になっています。実	
際上部から注入することはできないと考えられるため、	
立坑内から水平注入する場合、逆止口元管や短管ﾛｯ	
ﾄﾞを使用するため条件がかなり異なります。どのような	
施工をお考えか御教示ください。	
(61)付帯工高圧噴射攪拌(No.4発進立坑底部)	・図面を確認したところ、鋼矢板の内側なって
図面 No.34 No.4発進立坑 平面図にはΦ3500 N=13	おり、改良工法の変更等は契約後に協議
の記載がありますが、中列両端の改良芯が鋼矢板の	し対応します。
外側になっています。また、立坑の底部を改良するに	
当たり工法変更及び改良径と本数を変更することは	
可能でしょうか。御教示ください。	
(62)「特記仕様書」 3-2-3工程	・工程表の公表は致しません。
「本市の工程に協調して工事の進捗を図ること。」	
となっています。工程表を公表していただけるので	
しょうか。	
(63)「図面」No,34のNo,4発進立坑平面図・立坑断面図	・質問事項㊺と同じ
と「金抜き設計書」154頁の特許権使用料の規格	
「図面」の高圧噴射攪拌工法は、本数が13本とな	
っていますが、「金抜き設計書」の規格欄では10本	
と表記されています。どちらで考慮すればよろしい	
教示ください。	
(64)「金抜き設計書」154頁の名称SJ-2	・はい
SJ-2の数量が　135t　となっています。かなり多い	
量と思いますが、この数量でよろしいでしょうか。	
(65)「図面」No,34のNo,4立坑断面図と「金抜き設計書」	・設計書のとおりです。
309頁のガイドホール削孔用、(粘性土)	
「図面」No,34のNo,4立坑の立坑断面図の粘性土	
4518と「金抜き設計書」の数量が45.18mとなって	
おりますが、底盤0.5mを考慮し5018mと50.18m	
ではないでしょうか。	

(66)「図面」No,31と「金抜き設計書」48頁	・他埋設物等に関する費用一式については、
「図面」においては移設Gφ200：d=1.2と表記され、	質問事項⑰の回答参照
「金抜き設計書」では他埋設物等に関する費用一式	
となっており、延長等が表記されておりません。ご教授	
願います。また、施工は大阪ガスとなるのでしょうか。	
(67)「図面」No,30と「金抜き設計書」48頁、152頁	・図面№41参照
「図面」、「金抜き設計書」で下水道管渠移設	
φ250mmは8.1mとなっており、上流の既設管渠	
との接続が表記されておりません。既設接続は	
無しで考えておられるのでしょうか。ご教授願います。	
(68)「図面」No,31と「金抜き設計書」48頁、304頁	・離隔：約60cm
「図面」においては移設S HPφ450と表記され、「金	
抜き設計書」では下水道管渠移設φ450mmで54m	
となっており、鋼矢板Ⅳとの離隔表記されておりま	
せん。ご教授願います。	
(69)「金抜き設計書」48頁	・水道管移設一式についての金額は、
「金抜き設計書」では水道管移設一式となっており、	質問事項⑰の回答参照。
管径、延長や場所、断水工事の有無等が表記されて	
おりません。ご教授願います。	
(70)「広告文」14設計図書等に対する質問	・12月27日（金）が回答日となります。
回答日が12月27日(金)となっておりますが、12月28日	
から各社年末休暇の予定と考えられるため、回答日に	
変更や追加、誤記箇所の訂正があった場合、適正な	
見積を各下請業者に依頼することが困難であります。	
12月27日に全て回答ではなく、順次可能な箇所から	
回答を公表していただけないでしょうか。	

(70)単価適用月をご教示願います。	・質問事項④と同じ
(71)建設工事積算基準は令和元年度、	・はい
下水道用設計標準　歩掛は平成31年度を適用と	
考えて宜しいでしょうか。	
(72)電力量料金について	・臨時の夏季になります。
計上されている電力量料金は、常時又は臨時、夏季	
又はその他季どちらを採用されておりますでしょうか。	
また燃料調整費、再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰ発電促進賦課金	
は考慮されておりますでしょうか、考慮されているなら	
年月もあわせてご教示願います。	
(73)アスファルト塊処分先について	・質問事項⑦と同じ
積算上想定されているアスファルト塊の処分地先	
をご教示ください。	
(74)「金抜き設計書」260頁、341頁	・407ヶ月で計上しています。
覆工板賃料期間で供用407ヶ月となっており、不足分	
弁償金を計上されておられますが、407日=13.5ヶ月	
の間違いではないでしょうか。	
(75)「金抜き設計書」50頁	・質問事項㉚と同じ
交通誘導員B、昼夜連続の積算上想定されている	
基準額にかかる補正係数をご教示ください。	
(76)「金抜き設計書」384頁	・契約後に協議により対応します。
底部工(組立式)の代価表が材料費のみの計上と	
なっております、施工費に関しては設計変更の対象	
考えて宜しいでしょうか。	
(77)「金抜き設計書」59頁-63頁	・契約後に、協議により対応します。
ﾄﾝﾈﾙ世話役、ﾄﾝﾈﾙ特殊工の規格欄には昼夜連続	
とありますが、ﾄﾝﾈﾙ作業員の規格欄には昼夜連続	
の記載がありません。記載もれと思われますが、	
当初はﾄﾝﾈﾙ作業員のみを昼間標準の8h単価で	
計上して、設計変更時に昼夜連続の単価に訂正と	
考えて宜しいでしょうか、それとも単純に規格欄の	
記載が抜けているだけで、ﾄﾝﾈﾙ作業員も当初から	
ﾄﾝﾈﾙ世話役、ﾄﾝﾈﾙ特殊工と同様に昼夜連続の	
単価が計上されていると考えて宜しいでしょうか。	

(78)「金抜き設計書」199頁-202頁	・標準作業です。
積算条件では修理費及び損耗費が軽作業となって	
おりますが規格欄は標準作業となっております、	
どちらが正と考えれば宜しいでしょうか。	
(79)「金抜き設計書」208頁、209頁	・土砂積込用(給水管)の全損となり、
157号、158号代価表に硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 一般管	物価資料の1/3の価格で計上しています。
(VP)が計上されております、どちらも購入価格で	また、209頁のものについては、購入価格
物価資料掲載価格が同額で計上されていると考えて	となるので、208頁の1/3の価格で計上し
宜しいでしょうか、それともそれぞれ違う価格が計上	ています。
されているのでしょうか、ご教示ください。	
(80)「金抜き設計書」181頁	・質問事項㉓と同じ
鉄骨工(防音ﾊｳｽ)において解体費(防音ﾊｳｽ)が2回	また、平成31年度になります。
計上されておりますが組立費(防音ﾊｳｽ)の間違いで	
はないでしょうか。当初は解体費で計上して変更対象	
と考えて宜しいでしょうか、又組立費に関する解体費	
の割合が平成30年度と平成31年度で違いますが	
どちらを採用されておりますか、ご教示ください。	
(81)「金抜き設計書」408頁,409頁	・小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油になります。
軽油の規格が代価表354号、355号のみ小型ﾛｰﾘｰ	
4KL積載車となっておりますが、その他の軽油も同	
規格となるのでしょうか、それともその他の規格は	
小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油となるのでしょうか、ご教示	
ください。	
(82)「金抜き設計書」1頁,10頁	・対象外になります。
トライアル計測管理工において、代価表を確認します	
とそれぞれ直接工事費に経費が計上されております	
ので,共通仮設費・現場管理費・一般管理費の経費率	
の対象外と考えて宜しいでしょうか。	
(83)「金抜き設計書」4頁	・見積先については、お答えできません。
防音パネル損料が見積りとなっておりますが、見積り	
会社の公表をしていただけないでしょうか。	

(84)「金抜き設計書」10頁	・株式会社地域地盤環境研究所,
トライアル計測管理工において、地盤変状計測と	計測テクノ株式会社,
影響予測解析が見積りとなっておりますが見積り	綜合計測株式会社
会社の公表をしていただけないでしょうか。	の三社です。
(85)「金抜き設計書」11頁	・日特建設株式会社,
付帯工において、高圧噴射攪拌が見積りとなって	株式会社大阪防水建設社,
おりますが見積り会社の公表をしていただけない	ケミカルグラウト株式会社
でしょうか。	の三社です。
(86)工程について	・契約後、協議により対応します。
シールド機工場製作にかかる期間を製作会社に確認	
したところ8ヶ月かかるとの回答を得ました。これを	
工程に踏まえますと本工事は19ヶ月の期間を要し	
当初工程の14ヶ月から大きく延伸してしまう結果と	
なります、シールド機工場製作の期間や設計変更	
による工期の延伸は認めていただけるのでしょうか。	
(87)発進基地について	・関連機関への協議は完了しています。
通行止めで構築するように設計されていますが、	
地元了承、占用等は完了しているのでしょうか。	
(88)既設下水管の切り回しについて	・契約後、協議により対応します。
発進立坑、中間立坑において下水管の移設があり	
ますが、その際、断水等は考慮されているのでしょうか。	
(89)防音ハウス	・質問事項①と同じ
代価表第180号にあります防音ハウス損料でAタイプとなって	
いますが、図面NO26ではBタイプとなっています。	
どちらが正しいのかご教示お願いします。	
(90)シールド発生土処分工	・積算は、1124.6tで計上しています。
代価表第33号で発生土運搬工では1,470m3で建設汚泥	契約後、協議により対応します。
固化物では1,124.6tとなっています。汚泥の比重が0.765と	
なりますが間違いではないでしょうか。ご教示お願いします。	

(91)防音パネル損料	・別工事で引き続き使用するため、残置
代価表第180号で防音パネルの取付費は計上されて	です。
いますが、解体費が計上されていません。防音パネルは	
存置と考えてよろしいでしょうか。	
防音パネルの供用日が322日となっておりますがもし存置	
であれば、損料ではなく売却と考えてよろしいでしょうか。	
同じように鉄骨工も損料ではなく、売却と考えてよろしい	
でしょうか。ご教示お願いします。	
(92)発進立坑土留め	・別工事で引き続き使用するため、残置
上記3の質問と同様に代価表第208号、209号で供用日が	です。
ありますが、存置であれば損料ではなく、売却と考えてよろしい	
のでしょうか。ご教示お願いします。	
(93)変位調査	・地下鉄に対する変位調査・協議資料作成
特記仕様書3-1-3の変位調査は一般的な路面等の沈下計測	を目的とする。
等であり、シールドが通過する共同溝および地下鉄の変位調査	
は含まれていないのでしょうか。	
また協議のうえで上記変位管理が生じた場合は変更の対象	
となるのでしょうか。ご教示お願いします。	
(94)撤去工	・撤去のみが正です。
図面NO45にある立入防止柵(学校側)に撤去復旧となって	
いますが、設計書では撤去のみとなっています。	
どちらが正でしょうか。ご教示お願いします。	
(95)付帯工・開削工	・質問事項⑰と同じ
明細書第29号にある水道管移設と他埋設物に関する費用が	
1式計上となっています。詳細をご教示お願いします。	
(96)地盤改良工	・質問事項㊺と同じ
代価表第103号に高圧噴射撹拌工に10本とあり図面では	
13本となっています。どちらが正かご教示お願いします。	
(97)シールド工	・管理部局には確認済み
シールドが通過する共同溝の下部に障害物として土留め等の	
存置物はないのでしょうか。不明の場合は調査および掘進	
の検討が必要と思われますが別途協議と考えてよろしいで	
しょうか。ご教示お願いします。	

(98)作業基地	・質問事項(87)と同じ
特記仕様書9.作業基地に道路を占用して実施とありますが	
関係機関との協議は完了しているのでしょか。	
もし協議中であれば完了の予定はいつごろでしょうか。	
ご教示お願いします。	
(99)設計書第33号代価表　シールド発生土処分工	・質問事項(90)と同じ
において、発生土運搬工1470㎥に対し、建設汚泥固化物	
が11424.6t計上されております。これを比重に換算すると	
土の比重が0.765t/㎥になりますが、この数量の関係性に	
ついてご教示願います。	
(100)33号代価表において、積算基準にある改良	・契約後、協議により対応します。
・積込費が計上されておりません。この件につきましてご回	
答願います。	
(101)50号代価表において、土砂ピット設置撤去工	・契約後、協議により対応します。
、水槽損料が計上されておりません。この件につきましてご	
回答願います。	
(102)180号代価表において、防音パネル損料が	・質問事項①と同じ
Aタイプとなっておりますが、設計図面では参考図でありま	
すがBタイプとなっております。Bタイプを使用することを考え	
ておりますが、この件につきましてご教示願います。	
(103)2号内訳書に記載されている仮設防音壁基礎	・別工事で引き続き使用するため残置です
は、次回工事の推進工事のため残置するのでしょうか。	
ご教示願います。	
(104)181号代価表において、解体費(ハウス)58tが	・質問事項㉓と同じ
2回計上されておりますが、防音ハウスは解体するのでしょう	
次回工事の推進工事のため残置するのでしょうか。	
(105)第8号内訳書の『トライアル計測管理工』は全	・質問事項㉓と同じ
項目、諸経費対象以外でよろしいでしょうか。	
(106)「金抜き設計」48頁	・質問事項⑰と同じ
開削工において、水道管移設と他埋設物等に関する費用	
が見積りとなっておりますが、見積り会社を公表していただ	
けないでしょうか。	